

「システム開発方法論への科学的アプローチ研究会」研究会

2019年度第1回勉強会のご案内

2019年5月18日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2019年7月8日（月）午後2時00分～午後5時
2. 場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

■場所

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

ミーティングルーム4階です。

東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル

03-5227-6911

■アクセス

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilities/cc-ichigaya/access/>

JR市ヶ谷駅から徒歩1分。改札を出てお堀を渡った向こう側にあります。

東京メトロ南北線7番出口からは徒歩約1分です。

※ 飲み物の持ち込みは禁止とのことです。ご協力ください。

こちらで、コーヒーを手配します。

3. 発表

我が国において、システム開発方法論が大企業によく定着し始めた頃に登場したのが、ERPであった。それから早や四半世紀が過ぎ、活用の可否を巡る議論もあったが、アカデミックな立場からは、そろそろケジメを付けたい。

今回は、実務界に身を置きながら、大学院で、こうしたテーマを研究された、藤原紀章氏を講師に迎え、議論を楽しみます。

講師：ベース株式会社 マネージャ 藤原紀章氏

タイトル「IT業界におけるイノベーション創発事例研究－受託開発とERPの間」

受託開発の非効率化が言われて久しい。また、ERP導入により製品ロック状態のユーザの悲鳴もまことしやかに囁かれている。一方で、日本のIT業界の後進性、特に新技術によるイノベーションの貧困は言うまでもないであろう。

だが希望はある。発表者は、本研究で、重厚長大なERPの失敗を踏まえて新たなソフトウェア製品を開発し、本邦デファクト・スタンダードに至らしめた日本発の製品事例を発見した。

ここでは、当該事例を経営情報学の視点から考察し、その成功要因の解明成果について発表する。s

なお、当発表は発表者の修士論文（北陸先端科学技術大学院大学）に基づく。

参加費：無料

★研究会の後、懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m■nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上